

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	高松ふれあいクリーン事業		
部 局 名	環境局	課(室)名	適正処理対策室
		電話番号	087-839-2370

【事業全体概要】まちづくりの目標：人と環境にやさしい安全で住みよいまち

総合計画	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		主体	自治会、婦人会等	
	施策	不法投棄の防止		期間	平成 27年度～平成 28年度	
	基本事業	不法投棄防止対策の推進		総事業費	60,641	
重点取組項目				特定財源	国	0
関連根拠法令等					県	0
事業区分		自治事務	種別	事中・事後	市債	0
事業種類		単独			他	0
				一般	60,641	

事業の概要
 広く市民、企業やボランティア及び市が連携して、あじぎわ、高松・三木、塩江、高松エアポート、むれ・あじ源平の里、屋島、讃岐国分寺クリーン作戦など市内各所で環境美化活動を行うことにより、清潔で美しい高松を実現するとともに、環境意識の高揚を図る。

【事業の目的と指標】

対象	高松市内全域及び不法投棄が見られる地区	対象指標名	
		不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦実施地区数	不法投棄多発地区数
手段	広く市民や企業、ボランティア団体等と市が協働して、市内全域で清掃美化活動を行う一方、不法投棄多発地区においては、地域住民と協力のもと、重点的に清掃活動を行う。	活動指標名	
		不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加コミュニティ協議会清掃活	不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦ごみ回収量
意図	不法投棄ごみの、市民によるボランティア清掃活動を推進し、不法投棄は犯罪である「地域の環境は、地域で守る」という意識の醸成を図るとともに、市民の環境美化意識の高揚を図ることによって、清潔で美しい高松を実現する。	成果指標名	
		不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加者数	不法投棄苦情処理件数
結果	市民の環境美化意識の高揚を図り、清潔で美しい高松を実現することによって、人と環境にやさしい安全で住みよいまちづくりを推進する。	効率指標名	
		総事業費に係るクリーン作戦 1件当たりの経費	

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	目標値	目標年度
対象指標	地区	7	7	7	7	
	地区	7	7	7	7	
活動指標	地区	7	7	8	7	
	t / 年	14.4	21.2	27.5	17	
成果指標	人	5,349	6,342	7,122	6,600	
	件	154	133	128	120	
効率指標	千円	39	1,073	933	1,000	
トータルコスト	[千円]	7,327	7,511	7,466		
(事業費)	[千円]	87	130	85		
(職員人件費)	[千円]	7,240	7,381	7,381		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
市内各所でポイ捨てごみの散乱が見受けられ、対策を望む声が寄せられていた。 また、山間部や海岸部では、粗大ごみの不法投棄が後を絶たない状況であり、地元からも対策を望む声が寄せられていた。	「クリーン作戦」は、平成 27年度は、8地区で実施し、7,122人が参加し、約27.5tのごみを回収した。	市民の環境美化意識は高く、ボランティアの参加も多く、成果は出ていると思われるが、依然として不法投棄は無くなっていないため、事業の継続・拡充が必要である。	環境美化活動は、市民の認知度も高く、不法投棄対策への要望も非常に多い。市民のボランティア参加も多く、事業を継続することで、なお一層環境に対する意識向上や啓発になる。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か B 現段階では市による実施が妥当である 環境美化活動を推進し、美しいまちづくりを実現するため、市の関与は必要であり、不法投棄ごみの回収及び処分は、市が協力するべきものとする。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか A 貢献度が大きい 参加人数も多く、清潔で美しいまち高松の実現と環境美化・保全の意識向上に大いに貢献している。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか B 必要性は中程度 高松市衛生組合連合会、高松市環境美化推進会議及び地元実行委員会等との協働事業であり、ごみの回収及び処分は市の協力が前提で企画されているものである。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか A 影響は大きい 市民との協働による自主的な活動の支援であり、廃止・休止は美しいまちづくりを目指す本市としては、イメージダウンを招く。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか） B 事業にNPO、市民団体等が参画している 美しいまちづくり目指す各種施策のひとつである。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか C 向上余地が考えられる（大） 地区衛生組合、地元実行委員会及び市民との協働が取り入れられた事業である。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか） A 実施済み/実施する必要がなかった 国・県等関係機関と連携し、運営についての協力を得るなど、効果的な事業となるよう調整を図っている。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか C 概ね達成できた 目新しい事業ではないが、地域の環境を守る事業としては重要であり、市民総参加の環境美化活動「高松グリーンデー“たかまつきれいでー”」は、県下の市レベルでは本市独自の事業である。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか C 概ね達成できた 事業参加者は、ボランティアでの参加であり、受益者負担を求めるようなものではない。
10. コスト縮減ができたか B 縮減できた 事業費はほとんど不要の事業であるが、ごみの回収を当日回収から翌週定期収集での回収とし、人件費の縮減を目指している。

【一次評価】

評価区分	継続																								
この事業は、行政と住民が連携してクリーン作戦など、市内全域で環境美化活動を行うことにより、清潔で美しい高松を実現するとともに、環境意識の高揚を図っているところであり、また、各種団体、国、県、地元自治会等との協力体制も確立されていることから、継続して実施する必要がある。																									
	改革案	期待効果																							
内容	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏において、新たな事業を検討するとともに、新たな地域でクリーン作戦を実施する。	<p>阻害要因なし</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果		コスト				削減	維持	増加	向上					維持					低下			
	成果			コスト																					
		削減		維持	増加																				
向上																									
	維持																								
	低下																								
	阻害要因																								

【二次評価】

評価区分	継続
行政と住民が連携してクリーン作戦など市内各地域で環境美化活動を行うことにより、清潔で美しい高松を実現するとともに、環境意識の高揚を図っているところであり、市だけでなく、国、県、各種団体、地元自治会等との協力体制が確立されていることから、本事業を継続して実施していく必要がある。	